事業所名		旧帝学	√#_⊦	ごス エテ	ニュカーロ			,	去垤づг	コグラム	作成	} □	令和7 年	.	1		17	
尹禾川 仁											1 17-5	V П	LITTI	+	'	73	17	
法人(事業所)理念		・障がいを持たれた方とその家族に対し、誠意をもって支え共に生きる。 ・障がいを持たれた方の能力を最大限引き出す為の努力を惜しまない。 ・学問は自分のためだけではなく利用者、利用者の家族、社会の為にする。																
支援方針		1. 人格尊厳の尊重 2. 虐待の禁止 3. プライバシーを守る姿勢 4. 専門性の向上、自己研鑽、チームワーク 5. サービスの点検、地域福祉の推進																
	営業時間		9	時	0	分から	17 時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし						
		支援内容																
本人支援	健康・生活	・生活リズムヤ	や生活習	慣の形成	として	タイムスク	(吸入・吸引・) デジュールに応 (自分食べる練	じた活動	りと休息。	栄養管理等)。 摂食嚥下訓練、口腔ケア、排泄 習や、トイレトレーニング等)	世確認、入浴支援 。	等。						
	運動・感覚	・作業療法士、支援員よる個別リハビリテーション(本人の発達段階に応じた介入)。 ・集団での体操、リラクゼーション、体力強化に向けた支援等。 ・遊びを通した知覚探索、スヌーズレンによる多重感覚環境の提供(適応状態に応じて)。																
	認知・行動	・製作活動による感覚・認知機能の活性・見通しを立てる・イメージを膨らませる等の支援。 ・運動、遊びの中で身体の使い方を学習する、遊び方のバリエーションを増やす支援。 ・数量、大小、色等の習得に向けた支援																
	言語 コミュニケーション	・絵本や紙芝居の読み聞かせ・エプロンシアター・手遊びで言葉を受容する支援。 ・活動、ケアの中で常に声かけを行い、具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつけ言語の習得、自発的な発声を促す支援。 ・個々に合わせたコミュニケーション手段を獲得、活用する支援(手話・指差し・選択・身振り等)																
	人間関係 社会性	・集団レクを通して身近な人と親密な関係や安定した関係を築く、お友達の気持ちを知る・分かる支援。 ・手順や共通のルールを知る、公平性を知る等集団活動に参加できるようになる支援。 ・一人遊びから協同遊びへの支援。																
家族支援		・短期入所での	要望等0		必要な支援の調	整。		移行支援	・移行先との連携(支援内容等の共有や支援方法の伝達) ・地域住民の方との交流(散歩や公園遊び、地域のイベン い物等)。				。 卜、近所 ^で	での買				
地域支援・地域連携		・担当者会議やモニタリング会議、自立支援協議会への参加。 ・他事業所との交流や情報交換。 ・宜野湾市児童発達管理責任者連絡会への参加。								職員の質の向上	・県や市で開 ・虐待防止の ・知識やスキ	為の勉強会	を部署で月	1に1回、	法人	で年に2回	回実施。	
主な行事等		・夏祭り、運動会、クリスマス会、初詣、ムーチー作り、消防・避難訓練(年に2回)、地域のイベント参加、近隣や商業施設へのお出かけ(買い物訓練)。																